北陸地区国立大学連合協議会

平成22年度

北陸4大学連携 まちなかセミナー

福井会場



「北陸の女性・教育・家族」

日　時／**9月4日(土)** 14時～16時30分
会　場／福井大学アカデミーホール
（福井市文京3-9-1）
講　師／杉橋 やよい［金沢大学人間社会研究域経済学経営学系　准教授］
「北陸における男女の労働と生活ージェンダー統計を利用してー」
北田 佳子［富山大学人間発達科学部　准教授］
「北陸の女性教員ー女性校長・教頭の学校づくりー」
進　行／羽田野 慶子［福井大学教育地域科学部　准教授］

お問合せ
福井大学地域貢献推進センター
〒910-8507 福井市文京3-9-1
TEL 0776-27-8060　FAX 0776-27-8878
E-mail koken@ad.u-fukui.ac.jp

金沢会場



「健康寿命をのばそう」

日　時／**9月18日(土)** 14時～16時30分
会　場／金沢大学サテライト・プラザ
（金沢市西町三番丁16番地　金沢市西町教育研修館内）
講　師／此下 忠志［福井大学医学部　准教授］
「高血圧、糖尿病、腎臓病など生活習慣病からみた健康寿命
ー臓器寿命をのばすために、そして体質に基づいた治療法の可能性ー」
浜崎 智仁［富山大学和漢医薬学総合研究所 教授］
「コレステロールは高い方が死なない」
進　行／森下 英理子［金沢大学医薬保健研究域保健学系　准教授］

お問合せ
金沢大学地域連携推進センター
〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-264-5272～3　FAX 076-234-4045
E-mail kaihou@adm.kanazawa-u.ac.jp

富山会場



「環境」

日　時／**10月9日(土)** 14時～16時30分
会　場／富山駅前CiCビル 3階 学習室（富山市新富町1-2-3）
講　師／保科 英人［福井大学教育地域科学部　准教授］
「外来魚ブラックバス事情～福井県を例として～」
中村 浩二［金沢大学学長補佐（社会貢献担当）／環日本海域環境研究センター長・教授］
「里山里海の未来可能性：能登半島を例として」
進　行／前川 清人［富山大学大学院理工学研究部　准教授］

お問合せ
富山大学地域連携推進機構生涯学習部門
〒930-8555 富山市五福3190
TEL 076-445-6956　FAX 076-445-6033
E-mail lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp



入場無料

主　催　富山大学／金沢大学
福井大学／北陸先端科学技術大学院大学

後　援　富山県教育委員会／石川県教育委員会
福井県教育委員会

北陸地区国立大学連合協議会

平成22年度 北陸4大学連携 まちなかセミナー

福井会場

「北陸の女性・教育・家族」

●日 時／9月4日(土) 14時～16時30分

［進 行］羽田野 慶子（福井大学教育地域科学部 准教授）

●会 場／福井大学アカデミーホール
（福井市文京3-9-1）

講 演

「北陸における男女の労働と生活－ジェンダー統計を利用して－」

杉橋 やよい（金沢大学人間社会研究域経済学経営学系 准教授）

北陸の一つの特徴として、共働き世帯率の高さがあります。そこで、北陸における男女の労働と生活の現状を、様々な統計データを用いて、把握し、さらに日本全国や世界との比較も織り交ぜて、北陸地域の男女共同参画がどれほど進んでいるのかを、皆さんと一緒に考えたいと思います。

「北陸の女性教員－女性校長・教頭の学校づくり－」

北田 佳子（富山大学人間発達科学部 准教授）

教師は全体の約6割が女性という、女性優位の職業の代表格ですが、校長等の管理職に占める割合となると、その数は約2割に激減します。しかし、北陸は全国平均に比べ管理職に占める女性教員の割合が高いという特徴があり、この学校経営を担う女性管理職という視点から、北陸の教育の一側面を考察してみたいと思います。

金沢会場

「健康寿命をのばそう」

●日 時／9月18日(土) 14時～16時30分

［進 行］森下 英理子（金沢大学医薬保健研究域保健学系 准教授）

●会 場／金沢大学サテライト・プラザ
（金沢市西町三番丁16番地 金沢市西町教育研修館内）

講 演

「高血圧、糖尿病、腎臓病など生活習慣病からみた健康寿命
－臓器寿命をのばすために、そして体質に基づいた治療法の可能性－」

此下 忠志（福井大学医学部 准教授）

この数十年、生活が豊かになった一方、高血圧、糖尿病など生活習慣病の方が増えています。脳卒中や心臓病に加え、深刻な合併症のひとつが末期腎臓病です。人工透析をしなければ死んでしまう状態 “腎死”で、このような患者さんも増えています。しかし近年、これら臓器寿命を少しはのばすことができるようになりました。セミナーではこれらの状況を紹介し、さらに近未来医療として体質に基づいた治療法の可能性についても触れます。

「コレステロールは高い方が死なない」

浜崎 智仁（富山大学和漢医薬学総合研究所 教授）

コレステロールは危険というのが一般常識です。コレステロールが高いと動脈硬化（心筋梗塞）になりやすいから、というのが理由です。それでは今までにコレステロールと総死亡率の関係を見たことがありますか？危険だと言うからには、高コレステロール血症なら、きっと総死亡率が高いはずですよね。何がどうなっているのか見てみませんか？

富山会場

「環境」

●日 時／10月9日(土) 14時～16時30分

［進 行］前川 清人（富山大学大学院理工学研究部 准教授）

●会 場／富山駅前CiCビル 3階 学習室
（富山市新富町1-2-3）

講 演

「外来魚ブラックバス事情～福井県を例として～」

保科 英人（福井大学教育地域科学部 准教授）

ブラックバスとは、オオクチバスやコクチバス、フロリダバスなどのバス類を総称した名前です。オオクチバスやコクチバスは、特定外来生物に指定されている、悪名高き（？）外来種です。「まちなかセミナー」では、福井県の事例を中心として、ブラックバスの分布の現状や、その生息が生態系にもたらす影響などを紹介します。また、駆除の現場における問題点などを解説します。

「里山里海の未来可能性：能登半島を例として」

中村 浩二（金沢大学学長補佐（社会貢献担当）環日本海域環境研究センター長・教授）

里山は、集落・農地・林・ため池等で構成され、農林業などを通じて維持されてきた生態系です。里海は、人の暮らしと自然の営みが密接な沿岸海域のことであり、古くから水産から漁業の場であるとともに、文化と交流を支えてきました。北陸地方では、陸地の７割くらいが里山、海岸はすべて里海と言っても過言ではありません。里山里海は、生産の場であるだけでなく、水・大気の循環を調節し、伝統文化が継承されている場です。いま里山里海地域では、過疎・高齢化が激しく、存続の瀬戸際にあります。里山里海の現状と将来について、能登半島を例にとり、金沢大学の活動を交えてお話しします。

その他

- 事前の申込みは必要ありませんが、資料の準備等の関係から、参加ご希望の際は表面の問合せ先に電話、FAX等でその旨ご一報いただけますと幸いです。
- なるべくバス、電車等の公共交通機関をご利用くださるようお願いいたします。